

～～～～～
ニュース JAFIC EYE №165
2020 年 7 月の産地市場における主要魚種の動向
～～～～～

JAFIC が調査している全国主要 68 港における 7 月の調査対象全魚種の水揚量は 17 万 7 千トンで、前年同期（15 万トン）の 118％であった。1～7 月の累計水揚量は 110 万 3 千トンで、前年同期（111 万 8 千トン）並みであった。7 月の平均価格は 154 円/kg で、前年同期（217 円/kg）の 71％であった。1～7 月の平均価格は 186 円/kg で、前年同期（216 円/kg）の 86％であった（表 1）。

月	2020 年		2019 年		前年対比	
	水揚量	価格	水揚量	価格	水揚量	価格
1	111,099.7	220	152,507.8	202	73%	109%
2	154,274.8	176	140,246.4	207	110%	85%
3	174,481.1	143	173,875.3	159	100%	90%
4	152,089.0	150	175,406.1	170	87%	88%
5	173,279.2	166	188,093.6	164	92%	101%
6	160,132.4	180	138,113.4	204	116%	88%
7	177,333.8	154	149,813.2	217	118%	71%
合計	1,102,689.9	186	1,118,055.8	216	99%	86%

（以降出典：おさかなひろば（JAFIC））
主要 47 魚種の 7 月の魚種別の累計水揚量と平均価格は表 2 のとおりである。水揚量は、マイワシ、さば類、冷凍メバチなど 16 魚種で前年同月を上回り、スケトウダラ、かれい類など 4 魚種は前年同月並み、カタクチイワシ、ウルメイワシ、生鮮スルメイカなど 27 魚種で前年同月を下回った。平均価格は、マアジ、ブリ、生鮮カツオなど 12 魚種で前年同月を上回り、冷凍カツオ、生鮮キハダなど 9 魚種は前年同月並み、マイワシ、さば類など 26 魚種で前年同月を下回った。

表 2. 7 月の産地魚種別水揚量（t）と平均価格（円/kg）
（2019 年の平均単価により昇順に並べ、1,000 円/kg 以上の魚種を赤字で示す。）

	7 月		7 月		前年対比		1～12 月
	2020 年		2019 年		2020 年		2019 年
	水揚量	価格	水揚量	価格	水揚量	価格	価格
マイワシ	87,381.8	36	43,879.1	44	199%	82%	41
ニシン	61.0	27	44.2	36	138%	75%	52
スケトウダラ	11,180.0	26	10,882.0	34	103%	76%	58
カタクチイワシ	1,172.2	44	2,297.4	57	51%	77%	58
ウルメイワシ	1,404.6	73	3,724.5	83	38%	88%	76
ホッケ	787.9	57	276.4	158	285%	36%	81
さば類	6,694.2	114	6,023.8	128	111%	89%	105
ほたて(かい殻付)	6,673.4	109	4,914.7	193	136%	56%	158
冷カツオ	13,600.4	181	17,991.0	178	76%	102%	171
マダラ	1,807.9	163	1,578.5	199	115%	82%	227
マアジ	4,823.5	285	7,644.3	256	63%	111%	230
ブリ	2,545.5	213	3,723.5	189	68%	113%	251
生カツオ	6,562.7	270	7,206.1	251	91%	108%	306
冷キハダ	2,701.9	289	4,833.6	337	56%	86%	311
かれい類	629.9	343	656.9	402	96%	85%	312
ビンナガ	483.8	447	2,448.6	505	20%	89%	478
ヒラマサ	181.6	406	221.2	514	82%	79%	480
さわら類	82.7	779	733.3	628	11%	124%	552
マカジキ	31.5	402	111.9	299	28%	134%	562
たこ類	471.7	533	589.8	576	80%	93%	570
生スルメイカ	2,386.5	549	3,356.5	522	71%	105%	645
冷スルメイカ	106.8	643	419.0	614	25%	105%	645
ギンザケ(養殖)	3,334.0	482	3,569.3	638	93%	76%	665
サザエ	51.9	608	75.1	586	69%	104%	679
マダイ(天然)	270.0	544	386.7	625	70%	87%	730
ヤリイカ	205.7	871	197.1	882	104%	99%	740
生キハダ	1,350.3	671	1,559.1	667	87%	101%	750
メジマグロ(ヨコワ)	55.1	874	155.7	561	35%	156%	753
冷メバチ	2,016.5	653	1,658.3	778	122%	84%	812
マダイ(養殖)	36.0	598	23.9	888	151%	67%	910
ハマチ(養殖)	17.2	707	7.9	804	218%	88%	916
ヒラメ(天然)	119.8	821	194.6	803	62%	102%	997
アカムツ(ノドグロ)	12.3	2,691	16.8	2,363	73%	114%	1,069
メカジキ	261.2	996	191.3	1,034	136%	96%	1,095
生メバチ	715.7	376	548.0	523	131%	72%	1,131
キンメダイ	141.7	1,542	136.6	1,730	104%	89%	1,656
クロマグロ	460.1	1,611	291.5	1,444	158%	112%	1,680
冷ミナミマグロ	427.8	1,488	298.0	1,638	144%	91%	1,738
あなご類	35.9	1,227	47.8	1,071	75%	115%	1,741
ヒラメ(養殖)	0.7	1,896	1.3	2,009	52%	94%	1,934
あまだい類	16.4	1,833	17.5	1,705	94%	108%	2,118
キンキ(キチジ)	26.4	3,746	22.3	4,703	119%	80%	2,798
イセエビ	1.9	6,112	2.4	6,659	79%	92%	4,348
クルマエビ	1.0	4,764	1.6	4,785	62%	100%	4,754
トラフグ	0.9	3,123	0.4	1,277	220%	245%	5,406
あわび類	3.5	8,834	4.7	8,644	74%	102%	7,663
うに類(剥き身)	13.1	13,228	10.4	19,082	126%	69%	13,312

7 月の水揚量と平均価格を前年同月と比較したものを図 1 に示した。4～6 月は、新型コロナウイルスの影響を受け、特に 1,000 円/kg 以上の高価格魚で前年からの価格の下落が目立った。7 月は、高価格魚のうち前年同月を下回ったのは 7 魚種で、そのうち水揚量が減少したにもかかわらず価格を下げたのはヒラメ（養殖）とイセエビの 2 魚種であった。

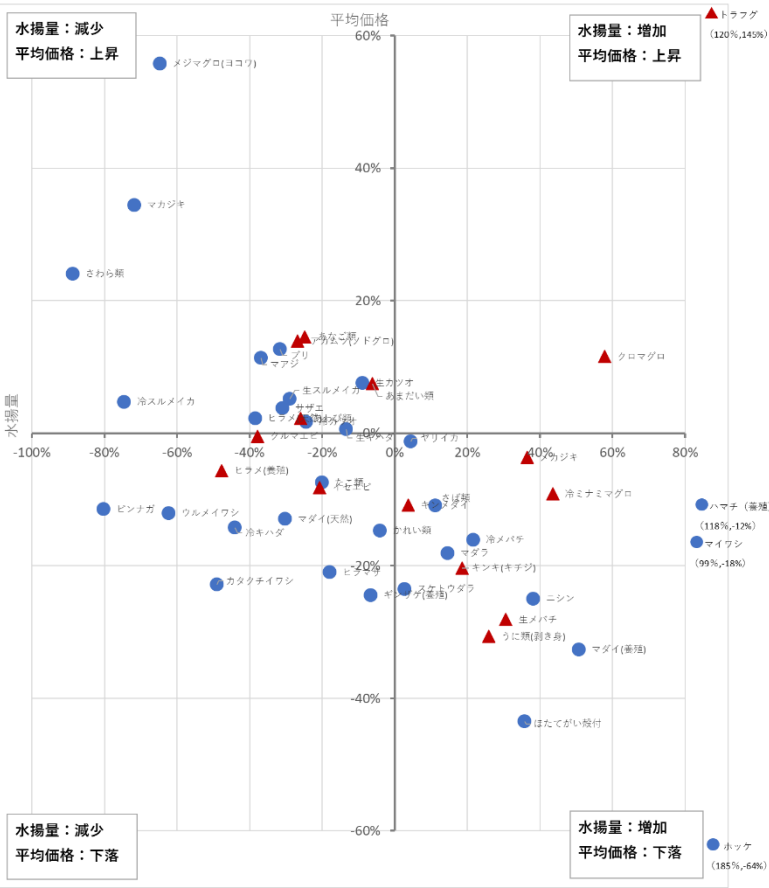


図 1. 主要 47 魚種の水揚量と平均価格の比較（2020 年 7 月／2019 年 7 月）
（x 軸と y 軸の目盛に記載した％は、前年同月（7 月）比の増減率を示す。▲は 2019 年の平均価格が 1,000 円/kg 以上、●はそれ未満の魚種を示す。目盛の範囲外に

あるトラフグ、ハマチ（養殖）、マイワシ、ホッケについては、水揚量と価格の増減率をカッコ内に示す。）

代表的な魚種の7月の動向は、次のとおりである。

① マイワシ

道東沖の好漁を受け、7月の水揚量は8万7千トンで、前月及び前年同月の2倍であった。1～7月の累計水揚量は37万トンで、前年同期の1.35倍と好調であった。7月の平均価格は36円/kgで、前年同月の82%にとどまった。

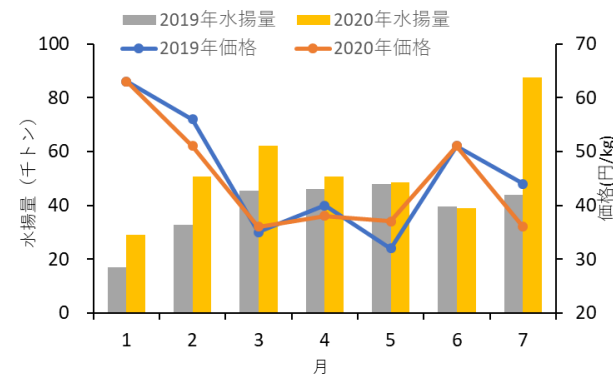


図2. マイワシの水揚量と価格の推移

② さば類

2月と3月の水揚量は各5万トンで、三陸～常磐沖で好調であったが、4月と5月は各2万トン、6月は1万3千トンと減少した。7月の水揚量は6千700トンで、前年同月の1.11倍であったものの、6月の5割程度に減少した。1～7月の累計水揚量は19万トンで、1月の低調な水揚げが影響し、前年同期の74%であった。7月の平均価格は114円/kgで前年同月（128円/kg）をやや下回った。

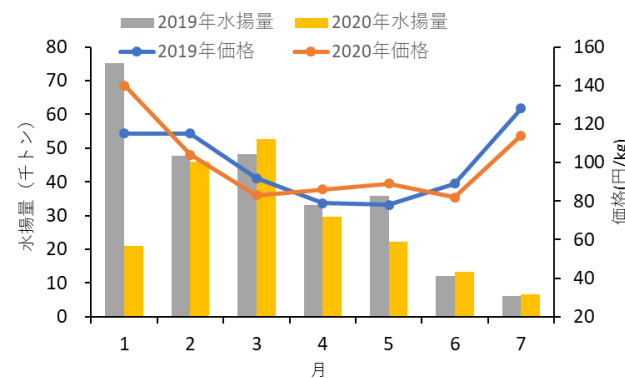


図3. さば類の水揚量と価格の推移

③ 冷凍メバチ

7月の水揚量は2千トンで、前月の1.14倍、前年同月の1.22倍であった。1～7月の累計水揚量は1万5千トンで、前年同期比1.1倍であった。7月の平均価格は653円/kgで、前年同月（778円/kg）の84%であった。コロナ禍による価格の落ち込みは、5月以降次第に回復しつつあるが、なお前年に比べてかなり低い水準が続いている。

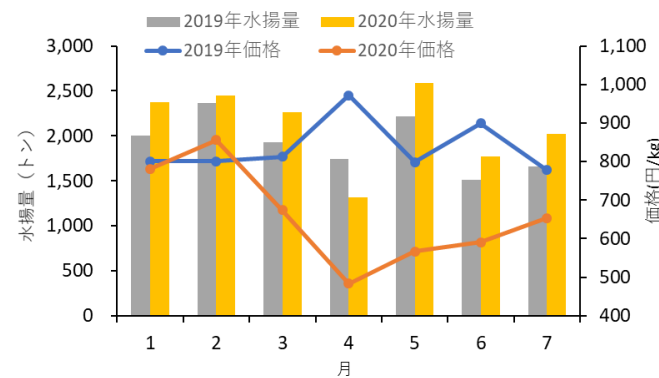


図4. 冷凍メバチの水揚量と価格の推移

④ キンメダイ

7月の水揚量は142トンで、前年同月並みであった。平均価格は1,542円/kg（前月比1.28倍）まで回復したものの、前年同月を下回った。

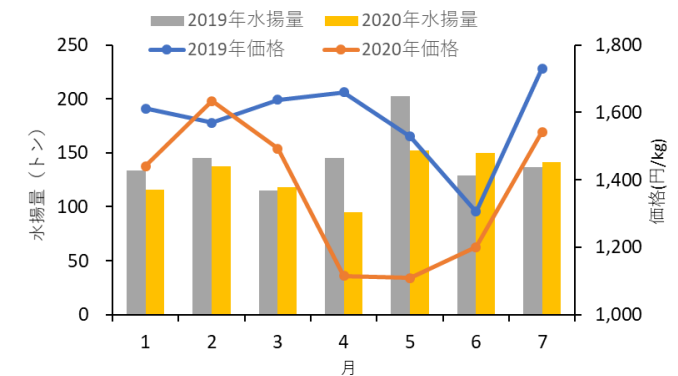


図5. キンメダイの水揚量と価格の推移

⑤ イセエビ

7月の水揚量は1.9トンで、前年同月の79%であった。平均価格は6,112円/kg（前月比1.21倍）で、前年同月をやや下回った。

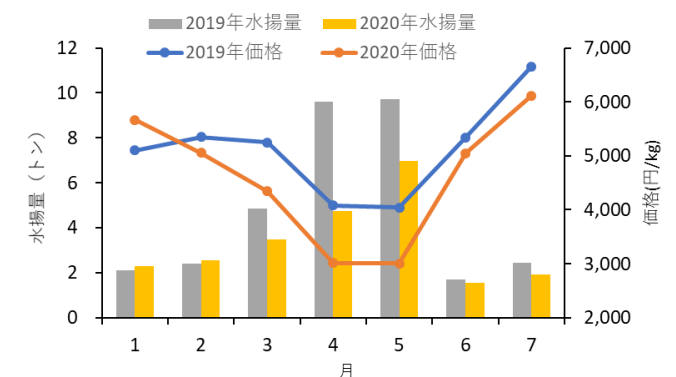


図6. イセエビの水揚量と価格の推移

⑥ あわび類

7月の水揚量は3.5トンで、前年同月の74%であっ

た。平均価格は 8,834 円/kg（前月比 1.57 倍）で、前年同月並みであった。

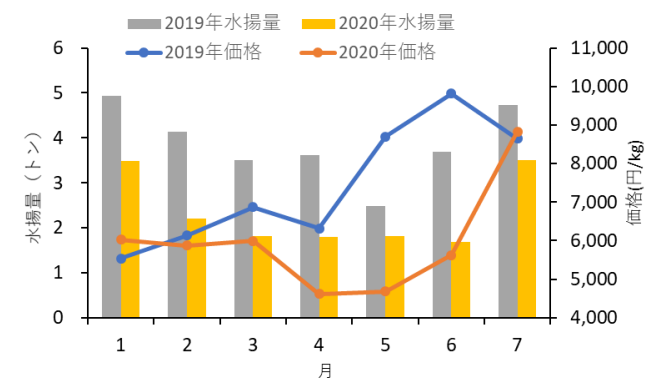


図 7. あわび類の水揚量と価格の推移

7 月は、不漁などにより平均価格が前年同月を上回った一般鮮魚（マアジ、生鮮カツオなど）があり、高価格魚では外食需要の回復により価格を持ち直した魚種（アカムツ、あまだい類、あわび類など）がみられた。一方、前年同月を下回る価格で推移した魚種（キンメダイ、イセエビなど）もみられた。

（水産情報部）